

トップコミットメント

わたしたちは
新しい価値の創造を通じて
社会に貢献します

東レ株式会社 代表取締役社長

大矢 光雄



当社は1926年の創業以来、事業を通じた社会への貢献を謳ってきた会社です。琵琶湖湖畔に創業したことから、水資源の管理に対する関心は並々ならぬものがあり、「化学に立脚したものづくり」への自覚から、人を育て、環境保全に万全を期すというサステナビリティそのものの経営を、先人から連綿と受け継いできました。継承されてきた経営思想・価値観は、1986年に制定した企業理念「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」に繋がっています。

世界は、気候変動、資源・エネルギー問題、人口増加に伴う食料・水の不足、自然環境の喪失、安全・健康への不安など、持続可能な社会を実現する上で解決しなければならない多くの課題に直面しています。現在、当社は持続可能な社会の実現に向けて事業環境の激変のさなかにはありますが、当社が生み出す革新技術・先端素材でこれらの課題に本質的なソリューションを提供し、世界のInnovationを目指すことは、今までもそしてこれからも変わりはありません。事業拡大を通じて社会に貢献し、人も会社も発展するという創業以来の想いを社員とともに繋ぎ、「真のサステナブルな会社」となるよう取り組んでいきます。

こうした考え方のもと、「東レグループ サステナビリティ・ビジョン」において、2050年に東レグループが目指す4つの世界の実現とその課題を示し、取り組みを加速させています。

1. 「地球規模での温室効果ガス（GHG）の排出と吸収のバランスが達成された世界」（GHG排出実質ゼロの世界）、すなわち「カーボンニュートラルの世界」
2. 「資源が持続可能な形で管理される世界」
3. 「誰もが安全な水・空気を利用し、自然環境が回復した世界」
4. 「すべての人が健康で衛生的な生活を送る世界」

2023年度からは、「東レグループ サステナビリティ・ビジョン」に示す地球規模の課題の解決への貢献を通じた「持続的かつ健全な成長」の実現を目指し、中期経営課題“プロジェクトAP-G 2025”「革新と強靱化の経営－価値創造による新たな飛躍－」に取り組んでいます。経営の最優先課題のひとつと位置づけているCSRについては、CSRの中期計画「CSRロードマップ2025」を策定して、「倫理とコンプライアンス」「安全・防災・環境保全」「人権推進と人材育成」「持続可能なサプライチェーンの構築」などの取り組みを組織的かつ計画的に進めており、経営戦略とCSRを一体的に推進し、これからも社会に貢献していきます。

2024年9月